

主日礼拝

2022 年 10 月 02 日
午前 10 時 30 分

前奏 「愛するイエスよ、我らここに集いて」
(J.S.バッハ)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

- 1 新しい歌を主に向かって歌え。
全地よ、主に向かって歌え。
- 2 主に向かって歌い、御名をたたえよ。
日から日へ、御救いの良い知らせを告げよ。
- 3 国々に主の栄光を語り伝えよ
諸国の民にその驚くべき御業を。」 (詩編 96:1~3)

頌栄 26「グロリア」



信仰告白 使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架に
つけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に
死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父
なる神の右に坐したまへり、かしこより来たりて、
生ける者と死ねる者とを審きたまはん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、
罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の命を信ず。
アーメン

祈禱

献金 ご用意のある方は、神さまへの感謝の気持ちをもってお届けください。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。アーメン。

聖書 マルコによる福音書 14:10~25

新約(新共同訳)P91~P92

10 十二人の一人イスカリオテのユダは、イエスを引き渡そうとして、祭司長たちのところへ出かけて行った。11 彼らはそれを聞いて喜び、金を与える約束をした。そこでユダは、どうすれば折よくイエスを引き渡せるかとねらっていた。

12 除酵祭の第一日、すなわち過越の小羊を屠る日、弟子たちがイエスに、「過越の食事をなさるのに、どこへ行って用意いたしましょうか」と言った。13 そこで、イエスは次のように言って、二人の弟子を使いに使われた。「都へ行きなさい。すると、水がめを運んでいる男に出会う。その人について行きなさい。

14 その人が入って行く家の主人にはこう言いなさい。『先生が、「弟子たちと一緒に過越の食事をするわたしの部屋はどこか」と言っています。』15 すると、席が整って用意のできた二階の広間を見せてくれるから、そこにわたしたちのために準備をしておきなさい。」16 弟子たちは出かけて都に行ってみると、

イエスが言われたとおりだったので、過越の食事を準備した。17 夕方になると、イエスは十二人と一緒にそこへ行かれた。18 一同が席に着いて食事をしているとき、イエスは言われた。「はっきり言うておくが、あなたがたのうちの一人で、わたしと一緒に食事をしている者が、わたしを裏切ろうとしている。」

19 弟子たちは心を痛めて、「まさかわたしのことでは」と代わる代わる言い始めた。20 イエスは言われた。「十二人のうちの一人で、わたしと一緒に鉢に食べ物を浸している者がそれだ。21 人の子は、聖書に書いてあるとおり、去って行く。だが、人の子を裏切るその者は不幸だ。生まれなかった方が、その者のためによかった。」

22 一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱えて、それを裂き、弟子たちに与えて言われた。「取りなさい。これはわたしの体である。」23 また、杯を取り、感謝の祈りを唱えて、彼らにお渡しになった。彼らは皆その杯から飲んだ。

24 そして、イエスは言われた。「これは、多くの人のために流されるわたしの血、契約の血である。25 はっきり言うておく。神の国で新たに飲むその日まで、ぶどうの実から作ったものを飲むことはもう決してあるまい。」

賛美 78(1,2,4)「わが主よ、ここに集い」

Here, O my Lord, I see Thine face to face
 詞：Horatius Bonar, 1808-1889
 曲：Edward J. Hopkins, 1818-1901

① わが主よ、ここに集い
 ② 主の糧 共に食し
 ③ わが主よ、主のほかには
 ④ わが罪、わが思いを

- ① わが主よ、ここに集い
 したしくみ顔あおぎ、
 わがすべて 主にゆだね
 み恵みを待ち望む。
- ② 主の糧 共に食し
 杯 共に受けて、
 わが心きよめられ
 深き罪 あがなわる。
- ③ わが主よ、主のほかには
 助けも望みもなし。
 ただ主こそわが力、
 祈りつつ 求めゆかん。
- ④ わが罪、わが思いを
 潔めし 主の血しおよ。
 主の正義 身にまとい
 恐れなく 進みゆかん。

説教「裏切り＝まさかわたしのことでは」

聖餐式 牧師のみ

賛美 432「重荷を負う者」

I heard the voice of Jesus say
 詞：Horatius Bonar, 1808-1889
 曲：KINGSFOLD
 曲：イギリス伝統旋律

1 「おーもにを おうもの、まーようものよ、
 2 「かーわいてい るもの、つーかれたもの、
 3 「こーの世のつとめになーやむものよ、

- 1 「重荷を負う者、迷う者よ、
 誰でも来なさい、ためらわずに」。
 招きに従い 私は行く。
 慰めと平和 受けるために。
- 2 「渴いている者、疲れた者よ、
 誰でも来なさい、ためらわずに」。
 いのちの主イエスに 私は行く。
 受けたその水 飲みほすため。
- 3 「この世の務めに、悩む者よ、
 誰でも来なさい、ためらわずに」。
 光の主イエスに 私は行く。
 終わりまで共に 歩むために。

派遣

司式者 主は言われます。
 「わたしは誰を遣わすべきか。」
 会衆 わたしがここにおります。
 わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「重荷を負う者」(讃 21:432)(D.ウット)

司式 要田 悟史
 説教 向井 希夫牧師
 奏楽 福原 之織
 助餐 要田 悟史
 (準備・片付け)

※お立ちになるのが困難な方は、
 座ったままで礼拝をお守り下さい。
 ※賛美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。

【誕生会のリタニー】

司式者：神さまは、10月生まれの方々に
 誕生日を与えてくださいました。
 いのちをくださる神さま、
 みんな：ありがとうございます。
 司式者：神さまは、生まれてから今日まで、
 この方々の成長を支えてくださいました。
 育ててくださる神さま
 みんな：ありがとうございます。
 司式者：神さまは、どんなときにもいっしょに
 いてくださいます。
 守ってくださる神さま
 みんな：ありがとうございます。
 司式者：神さまからの愛のプレゼント、
 10月生まれの方々の誕生日を
 みんなで喜びお祝いします。

祝福のお祈り 牧師